

市長から市民の皆さまへ 市長メッセージ

6月となり、入梅により体調を崩しやすい季節となります。市民の皆さまにおかれましては、是非、ご自愛ください。

本市の最重要課題である「環境センターの更新」ですが先月28日、新環境施設の起工式を行いました。新施設の特徴は、71tと規模は大きくありませんが、ごみの焼却熱を活用した高効率の発電を行うこと、煙突のない景観に配慮した施設であること、プロジェクションマッピングによる焼却炉内の状況やタブレットによる施設学習ができることなどが挙げられます。令和3年10月の新施設稼働に向け、周辺環境や安全性に十分配慮し、工事に取り組んでまいります。

また、遅れておりました付帯施設である温水プールを含む交流拠点施設については、効率的かつ効果的な施設となるよう設計を見直したところであり、令和3年4月のオープンを目指して、市議会の6月定例会に施設整備にかかる補正予算を提案することとしております。平成29年10月には「環境学習都市宣言」を行っており、環境施設と付帯施設などにより、多くの市民の皆さまにお越し頂き、「環境学習都市宣言」を具現化するエリアを目指したいと考えております。

さて、6月2日に野洲川大改修により整備された野洲川放水路の通水から40年を迎えます。かつて野洲川は、「近江太郎」と呼ばれた暴れ川で、下流が南流と北流に分かれており、南北の川幅を合わせても上流より狭く、10年に一度の頻度で大洪水をもたらしてきました。昭和28年の大洪水を

きっかけに治水対策を求める機運が高まる中、一級河川に位置づけられる一方、放水路整備を行うため、美田の提供や集落が二分される中洲学区の地元では反対の声が上がりました。最終的には「未来永劫にわたって安心できる河川」とすることに深いご理解を頂き、昭和46年に国が放水路整備工事に着手し、昭和54年6月2日に通水が行われました。

現在野洲川は、この大改修により、100年に一度の大雨に耐えられる河川となっており、本市発展の礎です。元内閣総理大臣 故宇野 宗佑氏を始めとする先人、また美田を提供して頂いた地元の皆さまのご尽力とご協力の賜物です。

本年9月15日(日)には40周年記念事業を予定しておりますが、「野洲川改修物語」などで触れることができますので、是非、野洲川の歴史を知って頂ければと存じます。

また、今号10頁に掲載しておりますが、本日6月1日(土)から、「モーリーカー」の利便性が向上します。各公共施設や佐川美術館を特定目的地として追加し、市役所や図書館へは、すべての世代の人がご利用頂けます。

最後になりますが、6月15日(土)午前9時30分から令和元年度の「市政報告会」を北消防署で開催します。主要課題の現状と取り組みの進捗などについて、私を始め市役所幹部職員から市民の皆さまへ直接報告させていただきます。申し込みは不要で、手話通訳もごさいますので、是非ともお越しください。

守山市長 宮本和宏



野洲川放水路通水から 40年を迎えます

国土交通省 国県事業対策課 ☎(582)1133 📠(582)6947

かつて野洲川は、川田町付近から南流と北流に分かれており、大雨などで増水したときは近隣の集落に大きな被害をもたらしてきました。このため、昭和46年に野洲川放水路の建設工事が着手され、昭和54年6月2日に通水しました。

今年には野洲川放水路の通水から40周年に当たります。9月15日(日)には記念事業も予定していますので、野洲川の歴史を今一度学んでみませんか。



昭和28年9月の台風13号
で南流左岸堤が決壊した
ときの洲本地先の様子



穏やかに流れている現在
の野洲川の様子